

集落営農組織による遊休農地の解消（根羽村）

■背景とねらい

根羽村では村内の法人が遊休農地解消のため、農地を集積し営農活動を展開している。この法人は平成24年に農業者、商店経営者、猟友会等多様な業種の方々により結成された。現在は水稲、そば、スイートコーンの栽培と、育苗受託事業、加工品販売等を行っている。本年度も秋そば、スイートコーン栽培を重点に指導を行った。

■本年度の取組と成果

1 秋そばの栽培指導

村、農業委員会を通じて法人に農地の集積を行い、そばは約3haの作付けがされた。支援センターでは雑草防除や施肥等の栽培管理技術について指導した。本年度は台風の影響が少なく作柄は良好であった。



そばの栽培状況

2 スイートコーン通信販売事業の支援

旅行会社と提携した通信販売事業について、規格に見合った品質の確保と安定的な出荷販売のため、栽培講習会やほ場巡回を実施した。本年は7月の長雨、日照不足により、収穫量は平年に比べて2割程度減少した。

■今後の課題と対応

本年は7月の長雨により、そばやスイートコーンに与える影響が大きかった。今後も作期の分散のほか倒伏防止や排水対策を実施し、安定生産を目指して支援していく。

(地域第三係:宮澤 秀治)

野生鳥獣被害の軽減の取組

■背景とねらい

野生鳥獣による農林業への被害額は年々減少傾向にあるものの、管内の令和元年度の被害額は1億円余と推定されている。広域柵の設置によりシカやイノシシなどの被害は減少したが、サルや鳥による被害は減少していない。そこで、特にサル対策として、長野県の普及技術になっている長野式電気柵の普及を中心に取り組んだ。

■本年度の取組と成果

長野式電気柵等のモデル設置

本年度は、昨年まで常習的にサルの被害を受けていた高森町の果樹園にモデルほを設置したが、新型コロナウイルス感染防止の観点から、講習会形式ではなく、農家に対して個別指導を行った。結果、今年度はサルの被害を受けることなく収穫することが出来た。また、収穫途中にサルの被害を受けたウリの採種用ほ場に電気柵をモデル設置し、さらに効果を検証することが出来た。

電気柵は正しく設置すれば十分な効果が得られることをさらにアピールし、普及する必要がある。



高森町の果樹園に設置した長野式電気柵

■今後の課題と対応

今年度は、高森町にサルなどの追い払い隊「鳥獣戦隊オウンジャー」が結成されたり、阿智村でも浪合地区鳥獣害対策委員会の活動が再開されたりと、地域における自主的活動も活発化している。

今後も市町村と連携し、被害を最小限に食い止めるべく活動を継続する。(阿南支所:原田 広己)

集落営農組織による遊休農地の解消（根羽村）

■背景とねらい

根羽村では村内の法人が遊休農地解消のため、農地を集積し営農活動を展開している。この法人は平成24年に農業者、商店経営者、猟友会等多様な業種の方々により結成された。現在は水稲、そば、スイートコーンの栽培と、育苗受託事業、加工品販売等を行っている。本年度も秋そば、スイートコーン栽培を重点に指導を行った。

■本年度の取組と成果

1 秋そばの栽培指導

村、農業委員会を通じて法人に農地の集積を行い、そばは約3haの作付けがされた。支援センターでは雑草防除や施肥等の栽培管理技術について指導した。本年度は台風の影響が少なく作柄は良好であった。



そばの栽培状況

2 スイートコーン通信販売事業の支援

旅行会社と提携した通信販売事業について、規格に見合った品質の確保と安定的な出荷販売のため、栽培講習会やほ場巡回を実施した。本年は7月の長雨、日照不足により、収穫量は平年に比べて2割程度減少した。

■今後の課題と対応

本年は7月の長雨により、そばやスイートコーンに与える影響が大きかった。今後も作期の分散のほか倒伏防止や排水対策を実施し、安定生産を目指して支援していく。

(地域第三係:宮澤 秀治)

野生鳥獣被害の軽減の取組

■背景とねらい

野生鳥獣による農林業への被害額は年々減少傾向にあるものの、管内の令和元年度の被害額は1億円余と推定されている。広域柵の設置によりシカやイノシシなどの被害は減少したが、サルや鳥による被害は減少していない。そこで、特にサル対策として、長野県の普及技術になっている長野式電気柵の普及を中心に取り組んだ。

■本年度の取組と成果

長野式電気柵等のモデル設置

本年度は、昨年まで常習的にサルの被害を受けていた高森町の果樹園にモデルほを設置したが、新型コロナウイルス感染防止の観点から、講習会形式ではなく、農家に対して個別指導を行った。結果、今年度はサルの被害を受けることなく収穫することが出来た。また、収穫途中にサルの被害を受けたウリの採種用ほ場に電気柵をモデル設置し、さらに効果を検証することが出来た。

電気柵は正しく設置すれば十分な効果が得られることをさらにアピールし、普及する必要がある。



高森町の果樹園に設置した長野式電気柵

■今後の課題と対応

今年度は、高森町にサルなどの追い払い隊「鳥獣戦隊オウんジャー」が結成されたり、阿智村でも浪合地区鳥獣害対策委員会の活動が再開されたりと、地域における自主的活動も活発化している。

今後も市町村と連携し、被害を最小限に食い止めるべく活動を継続する。(阿南支所:原田 広己)